学校番号	323

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版）						
副教材等	図説　日本史通覧（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中世から現代までを通して、歴史の流れの大きな概観をつかむ。
・日本の歴史と世界の歴史（特に東アジア史）を、相互に関連づけながら理解する。
・日本史の学習を通して、現代の日本と日本人の課題や、あるべき姿を考えて、自分の言葉で表現する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
近世から現代までの日本の歴史について、基本的知識を身に付けて相互の関連性を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
日本史の多様な資料を精読することにより、歴史的な思考力を培う。
現代の出来事を、歴史の事象と結び付け、歴史的視点から比較・考察・表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史を学習することにより、日本独自の文化や伝統を背景に、世界の中での日本と日本人の資質やあるべき姿を、自分なりの価値観に基づいて構築する。また、現代を生きる人間として歴史から学ぶ姿勢を大切にする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	中世から現代までの日本の歴史についての基本的な知識を身につけ、その相互の関連を理解している。	各時代の概観を深く思考し、現代日本のさまざまな課題を歴史的観点から、過去にさかのぼって考察し、その過程や結果を適切に理解し、文章などで表現できている。 また、歴史資料を自分なりに読み解き、そこから考えられることについて他の生徒と意見を交換している。	中世から現代までの日本の歴史に関する関心を高め、意欲的・能動的に探求する態度を培い、それを通して世界の中での日本人のあるべき姿を考える。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	武家社会の成長・近世の幕開け	・室町幕府の成立 ・幕府衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場 ・織豊政権 ・桃山文化	A 室町幕府成立から衰退、その後の戦国時代に至る流れを意欲的に考察して理解している。 b 室町時代から織豊政権期に至る過程について、各種資料をもとに思考を深めている。また、その時代背景などについて自分で説明をすることができる。 c 中世から近世に至る時期について学習した内容をもとに、政治、文化、人物などについて自分で調査して、まとめることができる。	考査	考査 提出物	提出物 発表
1学期期末	幕藩体制の成立・幕藩体制の動揺	・幕藩体制の成立と構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府衰退と近代への道 ・化政文化	a　江戸時代の幕藩体制の移り変わりについて、政治制度や推移、変化を理解し、その知識を身に付けている。 b　江戸時代の政治制度や文化について、各種資料をもとに思考を深めている。また、政策面の変化などについて、その時代背景や影響を自分で説明することができる。 c　江戸時代の文化について、その特徴や現在への影響などを自分で調査して、まとめることができる。	考査	考査 提出物	提出物 発表

2学期中間	近世から近代へ・近代国家の成立と展開・近代の産業と生活	・開国と幕末の動乱 ・幕府滅亡と新政府発足 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 ・日清・日露戦争 ・第一次世界大戦 ・ワシントン体制 ・近代産業の発展 ・市民生活の変容と大衆文化	a　近代の始まりと展開について、世界各国との関係に注目しながら歴史の流れを理解している。 b　日本における近代国家の成立について、各種資料をもとに思考を深めている。また、その時代背景や国民生活への影響などについて自分で説明をすることができる。 c　明治、大正期の文化について、西洋の影響をふまえながら自分で調査して、まとめることができる。	考査	考査 提出物	提出物 発表
2学期期末	恐慌と第二次世界大戦・占領下の日本	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦 ・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	a　恐慌の発生メカニズムと日本、世界の歴史への影響について理解している。 b　政党内閣崩壊から軍部の台頭による戦時体制確立、そして第二次大戦へ至る日本の動向について、その背景や原因を考察して説明をすることができる。また、文化や国民生活への影響について、資料や写真から読み解くことができる。 c　戦後の日本と世界（特に冷戦体制）との関係について調査して、まとめることができる。	考査	考査 提出物	提出物 発表

3 学 期	高度経済成長の時代・激動する世界と日本	・55 年体制 ・経済復興から高度経済成長 ・経済大国への道 ・冷戦終結と日本社会の変容	a　戦後の占領期から 55 年体制に至る歴史を考察して流れを理解している。 b　日本の経済復興と成長について、その要因や背景を資料から読み解き、自分の言葉で説明をすることが出来る。 c　冷戦終結後の日本社会について調査して、発表することが出来る。その際、令和現在の政治や社会に引き継がれている政治、社会の課題などについても触れる。	小テスト	小テスト 提出物	提出物 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度